

基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホクニョウ サッポロ コクサイダイガク								
フリガナ大学の名称	サッポロ コクサイダイガク 札幌国際大学 (Sapporo International University)								
大学本部の位置	北海道札幌市清田区清田四条一丁目4番1号								
大学の目的	札幌国際大学は、柔軟な思考力と実践力を貴ぶ学風の下に、深く専門の学芸を教授研究し、職業及び社会生活に必要な教育を施し、自由、自立、自省の精神による人間形成を重んじ、地域生活の創造と国際社会の発展に寄与する社会人を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的	<p>観光を取り巻く環境の急激な変化により、「観光ビジネス」と「国際観光」の学問的領域及び人材に対する社会のニーズが同一性を強める中、高校生及び保護者にとって国際観光学科卒業後の進路のイメージが描きにくくなり、学生募集における強い訴求力を持ち得なくなった。よって今後の学生募集力強化は難しいと判断し令和4年度から国際観光学科の学生募集を停止する。</p> <p>一方、新型コロナウイルス感染症流行前の北海道内では「観光ビジネス」の人材不足は深刻さを増し、観光に関わる人材の育成に対して社会の要求は極めて強いものとなっていた。感染症収束後のリバウンド需要も予想されるなか、引き続き人材不足が見込まれる状況である。</p> <p>このことから今回の収容定員変更により、「観光ビジネス学科」の入学定員を90名から140名とすることで、社会の要請に対応することとした。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	観光学部 【Faculty of Tourism】 観光ビジネス学科 【Department of Tourism Business】	4	140 (90)	—	560 (360)	学士（観光学） 【Bachelor of Tourism】	令和4年4月 第1年次	北海道札幌市清田区清田四条一丁目4番1号	
	国際観光学科 【Department of International Tourism】	4	0 (50)	—	0 (200)	学士（観光学） 【Bachelor of Tourism】	令和4年4月 第1年次	同上	
	人文学部 【Faculty of Humanities】 国際教養学科 【Department of Liberal Arts and Global Studies】	4	60 (0)	—	240 (0)	学士（人文学） 【Bachelor of Arts】	令和4年4月 第1年次	同上	※令和3年6月設置届出予定
	計		—	—	—				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	人文学部現代文化学科（廃止）（△60） ※令和4年4月学生募集停止 人文学部国際教養学科（60）（令和3年6月届出予定）								

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
		科目	科目	科目	科目	単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設分	観光学部 観光ビジネス学科	12人 (12)	4人 (5)	3人 (4)	0人 (0)	19人 (21)	0人 (0)	67人 (67)
		計	12 (12)	4 (5)	3 (4)	0 (0)	19 (21)	0 (0)	- (-)
	既設分	人文学部 国際教養学科	7 (5)	3 (3)	4 (1)	0 (0)	14 (9)	0 (0)	70 (50)
		人文学部 心理学科臨床心理専攻	6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	52 (52)
		人文学部 心理学科子ども心理専攻	5 (5)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	63 (63)
		スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科	4 (4)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	8 (8)	0 (0)	43 (43)
		スポーツ人間学部 スポーツ指導学科	11 (11)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	40 (40)
	計	33 (31)	14 (14)	10 (7)	3 (3)	60 (55)	0 (0)	- (-)	
	合計		45 (43)	18 (19)	13 (11)	3 (3)	79 (76)	0 (0)	- (-)
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員		40人 (40)		26人 (26)		66人 (66)		
	技術職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	図書館専門職員		1 (1)		0 (0)		1 (1)		
	その他の職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
計		41 (41)		26 (26)		66 (66)			
校地等	区分	専用	共用		共用する他の学校等の専用		計		
	校舎敷地	0㎡	53,118.28㎡		0㎡		53,118.28㎡		
	運動場用地	0㎡	31,881㎡		0㎡		31,881㎡		
	小計	0㎡	84,999.28㎡		0㎡		84,999.28㎡		
	その他	0㎡	41,884.50㎡		0㎡		41,884.50㎡		
合計	0㎡	126,883.78㎡		0㎡		126,883.78㎡			
校舎		専用	共用		共用する他の学校等の専用		計		
		5,811㎡ (5,811㎡)	44,598㎡ (44,598㎡)		1,026㎡ (1,026㎡)		51,435㎡ (51,435㎡)		
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		
	室	室	室		室 (補助職員 人)		室 (補助職員 人)		
専任教員研究室		新設学部等の名称			室数				
					室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
	計	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		

令和3年6月設置届出
(予定)

図書館		面積		閲覧座席数				収納可能冊数		
		㎡								
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		㎡								
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子図書・電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む	
		教員1人当り研究費等		170千円	170千円	170千円	170千円	－千円		－千円
		共同研究費等		4,600千円	4,600千円	4,600千円	4,600千円	－千円		－千円
		図書購入費	8,300千円	8,300千円	8,300千円	8,300千円	8,300千円	－千円		－千円
	設備購入費	144,000千円	30,000千円	47,000千円	43,000千円	30,000千円	－千円	－千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,150千円	930千円	930千円	930千円	－千円	－千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							
既設大学等の状況	大学の名称		札幌国際大学							
	学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
			年	人	年次人	人		倍		
	人文学部							0.77		
	現代文化学科		4	60	－	240	学士(人文学)	0.48	平成15年度	北海道札幌市清田区清田四条一丁目4番1号
	心理学科			100	－	440		0.93		
	臨床心理専攻		4	50	－	240	学士(人文学)	1.12	平成16年度	
	子ども心理専攻		4	50	－	200	学士(教育学)	0.76	平成20年度	
	観光学部							0.76		
	観光ビジネス学科		4	90	－	360	学士(観光学)	0.77	平成21年度	
	国際観光学科		4	50	－	200	学士(観光学)	0.74	平成21年度	
	スポーツ人間学部							1.03		スポーツ指導学科令和2年度入学定員増(20人)
	スポーツビジネス学科		4	60	－	240	学士(スポーツビジネス)	0.85	平成21年度	
	スポーツ指導学科		4	80	－	280	学士(スポーツ指導学)	1.20	平成21年度	
	観光学研究科									
観光学専攻		2	10	－	20	修士(観光学)	1.10	平成13年度		
心理学研究科										
臨床心理専攻		2	10	－	20	修士(臨床心理)	0.10	平成17年度		
スポーツ健康指導研究科										
スポーツ健康指導専攻		2	5	－	10	修士(スポーツ健康指導)	0.80	平成28年度		
既設大学等の状況	大学の名称		札幌国際大学短期大学部							
	学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
			年	人	年次人	人		倍		
総合生活キャリア学科		2	50	－	100	短期大学士(総合生活)	1.04	昭和44年度	北海道札幌市清田区清田四条一丁目4番1号	
幼児教育保育学科		2	140	－	280	短期大学士(幼児教育)	0.56	昭和44年度		
附属施設の概要		名称 : アリーナ 目的 : 体育授業、課外活動等での使用 所在地 : 札幌市清田区清田四条一丁目4番1号 設置年月 : 平成5年2月 規模等 : 1,312㎡								

	<p> 名 称 : 第一体育館 目 的 : 体育授業、課外活動等での使用 所在地 : 札幌市清田区清田四条一丁目4番1号 設置年月 : 平成18年12月 規模等 : 3,956㎡ </p>	
	<p> 名 称 : 第二体育館 目 的 : 体育授業、課外活動等での使用 所在地 : 札幌市清田区清田四条一丁目4番1号 設置年月 : 平成23年6月 規模等 : 1,806㎡ </p>	
	<p> 名 称 : 心理相談研究所 目 的 : 北海道の教育及び精神保健に関する相談・研究業務 所在地 : 札幌市清田区清田四条一丁目4番1号 設置年月 : 平成13年4月 規模等 : 1,806㎡ </p>	

学校法人 札幌国際大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
札幌国際大学			
人文学部			
現代文化学科	60	-	240
心理学科			
臨床心理専攻	50	-	200
子ども心理専攻	50	-	200
観光学部			
観光ビジネス学科	90	-	360
国際観光学科	50	-	200
スポーツ人間学部			
スポーツビジネス学科	60	-	240
スポーツ指導学科	80	-	320
計	440	-	1,760
札幌国際大学大学院			
観光学研究科			
観光学専攻 (M)	10	-	20
心理学研究科			
臨床心理専攻 (M)	10	-	20
スポーツ健康指導研究科			
スポーツ健康指導専攻 (M)	5	-	10
計	25	-	50
札幌国際大学短期大学部			
総合生活キャリア学科	50	-	100
幼児教育保育学科	140	-	280
計	190	-	380

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
札幌国際大学				
人文学部				
国際教養学科	0	-	0	令和4年4月学生募集停止
心理学科	60	-	240	学科の設置 (届出)
臨床心理専攻	50	-	200	
子ども心理専攻	50	-	200	
観光学部				
観光ビジネス学科	140	-	560	定員変更 (50)
国際観光学科	0	-	0	令和4年4月学生募集停止
スポーツ人間学部				
スポーツビジネス学科	60	-	240	
スポーツ指導学科	80	-	320	
計	440	-	1,760	
札幌国際大学大学院				
観光学研究科				
観光学専攻 (M)	10	-	20	
心理学研究科				
臨床心理専攻 (M)	10	-	20	
スポーツ健康指導研究科				
スポーツ健康指導専攻 (M)	5	-	10	
計	25	-	50	
札幌国際大学短期大学部				
総合生活キャリア学科	50	-	100	
幼児教育保育学科	140	-	280	
計	190	-	380	

目 次

- ア 学則変更（収容定員変更）の内容・・・・・・・・・・P.1
- イ 学則変更（収容定員変更）の必要性・・・・・・・・P.1
- ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容・・・P.2

資料目次

- 資料1 学部改編の経緯
- 資料2 定員充足率の経緯
- 資料3 学則を変更する学科等の教育課程等の概要

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和4年度から観光学部国際観光学科(入学定員50人 収容定員200人)の募集を停止し、観光学部観光ビジネス学科の入学定員90人(収容定員360人)を入学定員140人(収容定員560人)とする。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

1) これまでの経緯

本学は平成11年度に1学科体制のもと観光学部観光学科を開設した。その後、我が国の政策として「観光立国宣言」が打ち出され、「観光庁」が新設されるなど観光の重要性が強く認識されていく中で、平成21年度に観光学科を2学科へと改組し、観光ビジネスに係る高度な職業専門能力を有する人材の養成を目指して「観光ビジネス学科」を設置するとともに、地域経済を活性化させ、豊かな地域づくりに貢献し、観光関連産業や観光を振興する公的機関を担う人材や、指導者育成を目的に「観光経済学科」を設置した。

その後、国が推進する「観光の国際化」、及び地域が目指す「観光の国際化」への対応が強く求められるようになり、本学もこうした要請に応え、学生に対する効果的、円滑な教育体制を整えるため、平成25年度に「観光経済学科」を「国際観光学科」に名称を変更した。設置時からの変更状況、これまでの経緯をまとめると【資料1】のようになる。

2) 学則変更の必要性

近年、訪日外国人の急増など、国際化の影響は観光関連産業、観光を振興する公的機関など、観光に係るすべての領域に及んでいる。国際化はどの観光ビジネス領域でも必須の要件であり、また観光ビジネスの知識を持つことなしに観光の国際化に対応することはできない状況となった。

このように観光を取り巻く環境が大きく変化したことにより、「観光ビジネス」と「国際観光」の学問的な領域や人材に対する社会のニーズは同一性を強め、高校生及び保護者にとって国際観光学科卒業後の具体的な進路のイメージが描きにくくなり、国際観光学科は学生募集において強い訴求力を持ち得なくなった（【資料2】参照）。

よって今後の学生募集力強化は難しいと判断し国際観光学科の学生募集を停止することとした。

一方で、北海道における「観光ビジネス」は、コロナ禍にあってもニセコ地区への外国人投資家の旺盛な投資意欲が続いており、コロナ禍後のマイクロツーリズムなど国内旅行の復活、外国人訪日客の一定の回復期待などから、航空、ホテル、旅行、いわゆる「観光」において、あるいは地方自治体など行政機関との協働による「観光」を基盤とした地域活性化施策など、今後予想されるリバウンド需要も考えると引き続き人材不足が見込まれる状況である。

このことから今回の収容定員変更により、「観光ビジネス学科」の入学定員を90名から140名とすることで、社会の要請に対応することとしたい。これにより観光学部は1学科体制による機動的、効率的な学部運営を図り、これまで以上に学生に対し効果的で円滑な教育を実現するとともに、激変する環境に柔軟に対応することが可能となる。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容

全学共通教育において主要テーマ科目の第一は、学生としての責任感と倫理観を「学生と社会」を必修科目として展開していく。第二、第三の主要テーマ科目はグローバルな視点を活かし地域発展に貢献する人材を育成するための「地域探究」と「国際」の科目群である。ここで「地域アクティビティ」（学外実習）を体験させ、本学が重視するコンピテンシー、主体性を修得してもらう。さらに初年次科目の「基礎ゼミ」、「学びの技法」、においても「主体性」に重点に置いた取り組みを行う。これら「国際科目」、「地域探究科目」、「初年次科目」により諸課題に対応する探究力と地域への関心を育成していく。

教養基礎科目では、「観光ビジネス」領域の専門課程に進む上で入門的な内容とし、広範な人文、社会、文化、芸術・スポーツに関する知識を修得してもらう。また「観光ビジネス」に必須の汎用的スキル科目として「外国語」、「情報」の科目群を展開していく。【資料3】

観光学部観光ビジネス学科の収容定員変更に伴い専門教育課程における大幅な変更は行わないが、我が国の観光立国推進に伴い、観光学教育に期待される点が変わってきことを踏まえ、履修指導内容充実のために次の科目を追加しより時代に即した教育を行うこととする。

「インバウンド概論」・「インバウンド政策」・「インバウンド演習」：観光立国推進に伴いインバウンドに関する理解を深める必要から新規設置する。

「旅人学」：地域おこし協力隊や移住などで地方創生に寄与する人が増えている中、北海道で活躍するこのような人材を「旅人」と表現し、学生に最寄り地域での見聞を広げるきっかけとする狙いである。

「観光まちづくり論」「観光まちづくり演習」：昨今、観光立国推進の中で進められている地域を主体とした観光地づくりについて学ぶ。演習では実際にまちづくりの現場を地域の人たちとともに取り組む科目である。

「観光文化論」：観光概論などの導入科目では捉えきれない観光の文化面について理解する狙いの科目である。

「観光交通」：これまで航空や鉄道など大動脈に関する講義はあったが、LCCなどの台頭や地方の二次交通、Maasなどよりきめ細かな交通を体系的に学ぶ。

「観光経済論」：我が国や特に発展途上国など観光による経済発展や、観光による貿易収支の改善など、観光が経済に及ぼす影響等を学ぶ科目である。

「世界の観光地」：インバウンド観光をより巨視的な視点で学び、さらにはアウトバウンド戦略を検討する上でも必須の知識となる海外の観光地を知ることが狙いとする。

「リスクマネジメント」：コロナ禍等で注目を集める観光におけるリスクマネジメントを、政策、事業、地域の視点で概観するとともに、将来観光人材として必要な心配素性等の知識を学ぶ。

「観光クリエイティブ」：観光事業では必須となる、写真、映像などの撮影編集配信、パンフレット制作のためのDTP技術、インターネット利用などについての基礎を学ぶ。

「観光中国語」「観光韓国語」：昨今インバウンド客として中心の中国、韓国について基礎的な会話ができることを目指す語学系科目。

「宿泊経営概論」：従来のホテル旅館ばかりではなく、ゲストハウスや民泊・農泊など時代とともに宿泊経営のあり方が多様化している。それらを体系的に学ぶ狙いである。

「ニューツーリズム概論」「食と観光」：エコツーリズムやアグリツーリズムなど従来とは違ったスタイルの観光が日々生まれており、トレンドを掴みながら未来の観光のあり方を考える力を養う科目である。

「海外観光研修」「国内観光研修」：旅行業法や添乗員の資格等を学んだ上で、実際に学生自らが旅行を計画し主催、実施を目指す。また、実務家教員等の引率により、訪問先での観光事業者の活動により深く接することを目的とする。

「北海道観光政策」：観光政策のうち特に北海道の観光政策についてより深く学ぶ。実際に行政担当者などをゲスト講師として招くなど、北海道の観光が身近に感じられるようにする。

「観光ガイドⅠ」「観光ガイドⅡ」：これまで「観光ガイド」科目で展開していた。インバウンド向けの通訳資格の取得を目指すなどの充実を行うために授業展開数を増やす。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

これまでも学生の動機づけに効果的な教育方法及び履修指導方法を実践してきたが、それらを継続し踏襲していく。すなわち学生が主体性をもって協働し、知識や技能を修得できるようフィールドワークや実習等のPBL、グループワーク、ディスカッションなど、アクティブラーニングの方法を出来る限り採用していく。

(ウ) 教員組織の変更内容

1学科で140人の入学定員(収容定員560人)となるため専任教員数の増員が必要である。現在、観光ビジネス学科の専任教員は10人、国際観光学科は11人で、募集停止となる国際観光学科の教員を観光ビジネス学科をはじめ中期的には他学科を含めて異動し、適正な配置を行う。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

以下のような施設・設備を増設し、国際社会で活躍できる人材の育成、及びフィールドワーク、地域探究、PBLなどのアクティブラーニングを通じて地域社会を理解し、課題発見力、問題解決力、協調性、主体性を備え自立した人材の育成を行う。

(1) グローバル・コモンズ

国際交流に関するワンストップサービスを提供する。学内の国際性の日常化を推進するため、日本人学生、外国人留学生の交流スペースを新設し、交流イベント開催等による支援を行っていく。また国際交流の豊かな経験をもつ教職員が、海外研修や海外留学に関するアドバイスやサポートを行う。さらに外国人留学生の在留資格、及び在籍管理に係る

業務のほか、生活支援相談などを行い、外国人留学生がもつ留学中のあらゆる不安を払しょくし学修に集中できる環境を整える。また貸出用PC、ホワイトボードや可動式の机などを活用しながら、フィールドワーク、地域探究、PBLなど、アクティブラーニングにおける創作活動、プレゼンテーション、グループワークなどを主体的に学修できる場を設定する。さらにボランティア活動への参加支援などもここで行う。

(2) ラーニング・コモンズ

多種多様な学修スタイルに対応する学びの場を提供する。まず学修に役立つスタディスキルズ向上のため、教員や常駐のアシスタント学生による個別学修支援など、いわゆるリメディアル教育の充実を図っていく。

(3) ICT コモンズ

コンセプトは社会に出てからも戸惑わない、本物のICT環境の提供。教員や常駐のアシスタント学生のサポートにより個々の学生のICTスキルの向上を可能にする。パソコンを使つての文書作成、表計算など基礎的なスキルから、ITパスポート資格の取得レベルまでをカバーする。

(4) アクティブラーニング対応教室の増強

本学は実践、体験を通しての「学び」を最も重視している。さまざまなスタイルの学修を実践するため、教員と学生が双方向につながり、活発に意見が飛び交い、熱のある授業が繰り広げられるアクティブラーニング対応教室を増強し、この教室を活用する授業を増やしていく。授業のスタイルに合わせて講義型、グループ学修型、ディベート型など、さまざまな運用が可能となるが、授業のスタイルをさらに進歩させる「ICT環境を制御」するシステムの導入を検討していく。すなわち、スマートフォンなどで操作することにより、教室のどこにいても映像の切り替え、照明環境など各種機器のオン/オフを操ることができ、教員は動き回りながら双方向型の授業が可能となる。学生も授業でプレゼンテーションや意見交換をする際に、パソコンやスマートフォンの資料をワイヤレスで簡単にモニターに投影することができる環境の増強を検討する。アクティブラーニングを積極的に推進する本学では、学生が気軽にプレゼンテーションできるICT環境を教室内に整備し、本物の場の力に刺激されて主体的に学修し成長していく環境を整備していく。

資 料 目 次

- 資料1 学部改編の経緯
- 資料2 定員充足率の経緯
- 資料3 学則を変更する学科等の教育課程等の概要

(資料1) 学部改編の経緯

年度	開設・変更内容	入学定員	収容定員	手続きの区分
平成11年度	観光学部観光学科開設	200名	800名	設置認可
平成17年度	観光学部観光学科定員変更	150名	600名	収容定員変更届
平成21年度	観光学部観光ビジネス学科開設	90名	360名	設置届出
	観光学部観光経済学科開設	60名	240名	
平成25年度	観光学部観光経済学科 →観光学部国際観光学科	60名	240名	名称変更
平成29年度	観光学部国際観光学科定員変更	50名	200名	収容定員変更届

(資料2) 観光学部定員充足率の経緯

各年度5月1日現在

学科名		平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	平成31 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)
観光ビジネス学科	入学定員(人)	90	90	90	90	90	90	90	90	90
	入学者数(人)	45	68	54	67	67	67	63	91	57
	充足率(%)	50.0	75.6	60.0	74.4	74.4	74.4	70.0	101.1	63.3
国際観光学科	入学定員(人)	60	60	60	60	50	50	50	50	50
	入学者数(人)	17	8	8	10	8	10	48	50	42
	充足率(%)	28.3	13.3	13.3	16.7	16.0	20.0	96.0	100.0	84.0
観光学部 計	入学定員(人)	150	150	150	150	140	140	140	140	140
	入学者数(人)	62	76	62	77	75	77	111	141	99
	充足率(%)	41.3	50.7	41.3	51.3	53.6	55.0	79.3	100.7	70.7

別記様式第2号 (その2の1)													(用紙 日本産業規格A4縦型)				
教 育 課 程 等 の 概 要																	
(観光学部観光ビジネス学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学 共通 教育 科目	初年次 教育 科目	学びの技法	1前	2				○							兼4		
		学生と社会	1前	2				○		1					兼3		
		基礎ゼミI	1前	2				○		5	2	2					
		基礎ゼミII	1後	2				○		5	2	2					
		小計(4科目)	—	8	0	0		—		6	2	2	0	0	兼7	—	
	教養 教育 科目	人文	人間と文学	3前		2		○								兼1	
			人間と哲学	1前		2		○								兼1	
			人間と心理	2前		2		○								兼1	
			人間と歴史	1後		2		○								兼1	
			言語学	1後		2		○				1					
		社会	生涯学習論	1前		2		○								兼1	
			社会と経済	1後		2		○								兼1	
			社会と経営	1前		2		○								兼1	
			社会と法	2後		2		○								兼1	
			日本国憲法	2前		2		○								兼1	
	社会学		1後		2		○								兼1		
	社会とメディアの倫理	2前		2		○			1								
	日本 文化	日本文化論	1後		2		○								兼1		
		日本文化演習(茶道)	2前		2			○							兼1		
		日本文化演習(華道)	2前		2			○							兼1		
		日本文化演習(書道)	2前		2			○							兼1		
	芸術・ スポ ーツ	芸術論I	2前		2		○								兼1		
		芸術論II	2後		2		○								兼1		
		日本の音楽	1前		2			○							兼2	オムニバス	
音楽実践		2後		2			○							兼1			
スポーツI		1前		2			○							兼5			
スポーツII		1後		2			○							兼5			
フィットネスI		2前		2				○						兼1			
フィットネスII		2後		2				○						兼1			
小計(24科目)	—	0	48	0		—		1	1	0	0	0	兼22	—			
地域・ 国際 教育 科目	地域 探究	地域学	2前		2		○							兼1			
		北海道学	1前		2		○							兼2			
		地域アクティビティI(ボランティア)	1前		2			○						兼4			
		地域アクティビティII(清田)	1後		2			○						兼4			
		地域アクティビティIII(北海道)	2前		2			○						兼4			
	国際	サステナビリティ	1前		2		○								兼1		
		多文化共生論	2前		2		○								兼1		
		国際事情	2後		2		○				1						
		クールジャパン	1後		2		○								兼1		
		海外ボランティア・インターンシップI	2前・後		2			○		2		1			兼3		
		海外ボランティア・インターンシップII	2前・後		2			○		2		1			兼3		
		海外研修I	1前・後		2			○							兼5		
		海外研修II	1前・後		2			○							兼5		
		海外研修III	1前・後		2			○							兼5		
		海外研修IV	1前・後		2			○							兼5		
小計(15科目)	—	0	30	0		—		2	1	1	0	0	兼13	—			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
言語情報教育科目	言語 日本語表現入門	1前		2				○								兼2	
	日本語表現I	1前	2					○		1						兼7	
	日本語表現II	1後	2					○		1						兼7	
	日本語表現III	2前		2				○								兼3	
	英語I	1前	2					○			1					兼3	
	英語II	1後	2					○			1					兼3	
	英語III	2前		2				○			1					兼3	
	英語IV	2後		2				○			1					兼3	
	ConversationI	1前		2				○								兼2	
	ConversationII	1後		2				○								兼2	
	CLILI (英語で文化を学ぶ)	3前		2				○								兼1	
	CLILII (英語で文化を学ぶ)	3後		2				○								兼1	
	TOEIC	2後		2				○								兼1	
	TOEICII	3前		2				○								兼1	
	中国語I	1前		2				○								兼1	
	中国語II	1後		2				○								兼1	
	中国語III	2前		2				○								兼1	
	中国語IV	2後		2				○								兼1	
	韓国語I	1前		2				○								兼1	
	韓国語II	1後		2				○								兼1	
	韓国語III	2前		2				○								兼1	
	韓国語IV	2後		2				○								兼1	
	情報	情報機器操作	1前	2					○		1						兼4
表計算		1後		2				○		1						兼4	
文書作成		1後		2				○		1						兼4	
プロジェクトマネジメント		1後		2				○								兼1	
AI・データサイエンス		2前		2				○								兼1	
ITパスポート演習		2前		2				○								兼2	
文系のための数学入門		1前		2				○		1							
小計 (29科目)	-	10	48	0			-		2	0	1	0	0	兼21	-		
キャリア教育科目	キャリア形成論	1後	2				○									兼3	
	キャリアデザイン	2後	2					○		1						兼3	
	キャリア研究	3後		2				○			1					兼3	
	新聞で読む社会事情	3前		2			○			1							
	SIU特講	2前		2			○									兼1	
	ビジネス実務総論	2前		2			○									兼1	
	ビジネス実務演習	2前		2				○								兼1	
	ビジネス日本語	2前		2				○		1						兼1	
	インターンシップI	1前・後		2					○	2		1				兼3	共同
	インターンシップII	1前・後		2					○	2		1				兼3	共同
インターンシップIII	1前・後		4					○	2		1				兼3	共同	
小計 (11科目)	-	4	20	0			-		4	1	1	0	0	兼7	-		
留学生教育科目	日本事情I	2前		2			○									兼1	
	日本事情II	2後		2			○									兼1	
	日本語 (留学生) I	1前・後		2				○		1	1					兼3	
	日本語 (留学生) II	1前・後		2				○		1	1					兼3	
	日本語 (留学生) III	1前・後		2				○		1	1					兼3	
	日本語 (留学生) IV	1前・後		2				○		1	1					兼3	
	日本語 (留学生) V	1前・後		2				○		1	1					兼3	
	日本語 (留学生) VI	1前・後		2				○		1	1					兼3	
小計 (8科目)	-	0	16	0			-		1	1	0	0	0	兼3	-		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
観光学部 基幹科目	観光概論	1前	2			○			1	1	1							
	インバウンド概論	1前	2			○										兼2		
	観光事業論	2前	2			○			3									
	2年演習(基礎)	2前	2				○		5	2	2							
	2年演習(応用)	2後	2				○		8	1	1							
	3年演習(基礎)	3前	2				○		8	1	1							
	3年演習(応用)	3後	2				○		5	2	1							
	4年演習(基礎)	4前	2				○		5	2	1							
	4年演習(応用)	4後	2				○		5	2	1							
	観光地理	1前		2			○										兼1	
	観光文化論	1後		2			○					1						
	観光交通	1後		2			○			1								
	観光経済論	1後		2			○			1								
	ホスピタリティ論	1後		2			○										兼1	
	国内観光資源	1後		2			○			1								
	観光論特別講義	1後		2			○			2	1						オムニバス	
	観光ビジネスマナー	2前		2			○			1								
	観光マーケティング	2前		2			○				1							
	観光統計	2前		2			○			1								
	ビジネスコミュニケーション	2前		2			○			1								
	リスクマネジメント	2前		2				○		1		1					兼1	
	観光クリエイティブ	2後		2			○				1							
	観光調査法入門	2後		2			○			1								
	観光情報	2後		2			○											兼1
	観光政策行政	2後		2			○					1						
	観光とMICE	2後		2			○			1								
	観光と心のケア	3前		2			○											兼1
	観光と歴史文化	3後		2			○				1							
	海外旅行実務	2前		2			○			1								兼1
	観光産業と起業	3前		2			○											兼1
	海外観光研修	3前		2				○		1								
	国内観光研修	3前		2				○		1		2						
	観光英会話	2前		2			○											兼1
	観光英語	2後		2			○					1						
	観光中国語	2後		2			○					1						
	観光韓国語	2後		2			○					1						
	インストラクター演習Ⅰ	3前		2				○			1							
	インストラクター演習Ⅱ	3後		2				○			1							
	温泉学概論	3後		2			○			1								
	インバウンド政策	3後		2			○											兼2
	卒業研究	4通		4				○		5	3	1						
小計(41科目)		-	18	64	0		-		11	3	3					兼10	-	
観光学部 専門科目	添乗演習	1前		2			○		1								兼2	
	国内旅行実務	1前		2			○		1								兼1	
	観光サービス論	1後		2			○		3									
	観光企業研究	2前		2			○		1									
	旅行演習	2後		2				○			1							
	インターネット旅行情報	3前		2			○										兼1	
	旅行業法・約款	1前		2			○		1								兼1	
	ホテルビジネス実務	2前		2			○		1									
	宿泊経営概論	2後		2			○		1									兼1
	ホテル開発概論	3前		2			○											
	旅行ビジネス実務	2前		2			○		1									
	ホテル演習	2前		2				○										兼1
	航空演習	2前		2				○		1								
	航空ビジネス実務	2前		2			○		1									
	観光実践演習	2後		4				○		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
	グラウンドスタッフ実務	2後		2		○			1									
	キャビンアテンダント実務	2後		2		○											兼1	
	添乗員実務論	2後		2		○			1								兼1	
	オンライントラベル演習	3後		2			○											
	ホテル商品企画	3後		2		○			1									
	旅人学	1前		2			○			1								
	観光ビジネス論	1後		2		○			1									
	ニューツーリズム概論	3前		2		○			1	1								
	世界の観光地	1後		2		○				1								
	リゾート概論	1後		2		○			1			1						
	北海道観光	2前		2		○			1									
	観光とスポーツ	2後		2		○											兼1	
	観光まちづくり論	2後		2		○			1									
	食と観光	3前		2		○			1									
	観光まちづくり演習	2前		2			○		1			2						
	インバウンド演習	2前		2			○		1									
	北海道観光政策	3前		2		○			1									
	観光ガイドⅠ	3前		2			○		1	1								
	観光ガイドⅡ	3後		2			○		1	1								
	小計 (34科目)	-	0	70	0				10	2	2						兼9	-
合計 (166科目)		-	40	296	0				12	4	3						兼67	-
学位又は称号	学士 (観光学)	学位又は学科の分野			経済学関係、社会学・社会福祉学関係													
卒業要件及び履修方法								授業期間等										
全学共通教育科目の「初年次教育科目」必修8単位、「教養教育科目」人文、社会、日本文化、芸術・スポーツ各分野から1科目以上計10単位以上、「地域・国際教育科目」地域探究、国際から各1科目4単位以上、「言語情報教育科目」から必修10単位を含み16単位以上、「キャリア教育科目」から必修4単位を含み8単位以上を修得すること。 観光学部基幹科目の必修科目18単位、選択科目から20単位以上、観光学部専門科目から30単位以上を修得し、全学共通教育科目と合わせて124単位以上修得すること。(履修科目登録の上限：GPAにより40～52単位(年間))								1学年の学期区分		2期								
								1学期の授業期間		15週								
								1時限の授業時間		90分								